



本町の教育指標：「進取の気象」「国際性」「社会貢献」

# 嘉手納町 教育委員会だより

令和8年7月 臨時発行 嘉手納町教育委員会



## 緊急メッセージ！ ～みんなで守ろう、薬物のない未来～

みんなの大切な未来を守るために —薬物の誘惑に負けないで—

### 生徒の皆さん、こんにちは。

最近、皆さんの身近なところでも、インターネットや SNS を通じて、薬物の甘い誘惑が忍び寄っているという話を聞きます。「一度だけなら大丈夫」「これなら合法だから安全」といった言葉で誘ってくるかもしれません。しかし、それは間違いです。どんなに軽い気持ちで始めても、薬物は皆さんの脳や体を壊し、取り返しのつかない「後悔」を招きます。皆さんの夢や希望を、一瞬にして奪い去るようなものに、決して手を出さないでください。もし、周りで怪しい話を聞いたり、怖い思いをしたりしたら、一人で抱え込まず、必ず先生や信頼できる大人に相談してください。皆さんの命と未来を守るため、私たち大人は全力でサポートします。正しい判断をする強さを、一緒に持ちましょう。

子どもたちを薬物の魔の手から守るために —家庭でできる予防の第一歩—

### 保護者の皆様へ

昨今、県内で若年層の薬物乱用が急増しており、私たちの子どもたちにとっても「対岸の火事」ではない深刻な事態となっています。特に、SNS を通じた安易な入手経路や、「合法」を装った危険な薬物の蔓延が懸念されています。ご家庭におかれましては、以下の点について今一度ご確認・お声がけをお願いいたします。

#### ●SNS の利用状況を確認する

・知らない相手や怪しいグループとのやり取りがないか、折に触れてお子様と会話をしてください。

#### ●「薬物の入り口」を知る

・違法薬物だけでなく、規制薬物への転用など、巧妙な手口があることを保護者自身が学び、お子様へ注意を促してください。

#### ●対話の場を大切にする

・お子様が悩みや不安を気軽に相談できる家庭環境こそが、薬物からの最大の防波堤となります。

嘉手納町教育委員会では、関係機関と連携し、子どもたちを守る取り組みを強化しています。ご家庭でも、今一度「薬物の恐ろしさ」について話題にしてみてください。

地域の大切な宝物である子どもたちを、みんなで守りましょう —子どもたちを見守る「地域の目」—

### 地域住民の皆様へ

平素より、本町の教育活動にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。現在、沖縄県内において、中・高校生を含む 10 代～20 代の若年層の薬物乱用が、かつてないスピードで広がっています。薬物は、私たちのすぐそば、見えないところで巧妙に取引されています。子どもたちが薬物の被害に遭わないためには、学校や家庭だけでなく、地域全体の「目」が必要です。地域の皆様をお願いしたいのは、子どもたちの「ちょっとした変化」に気づいていただくことです。

#### ●夜遅くまで出歩いている若者のグループが増えているか。

#### ●いつもと様子が違う子どもがいないか。

#### ●地域で不審な動きを見かけないか。

私たちは、子どもたちが安心して過ごせる「温かな居場所」を守り抜く決意です。薬物乱用を許さない社会づくりには、皆様の協力（「嘉手納の子どもは、嘉手納の大人が守る」）が不可欠です。子どもたちの健やかな成長のため、引き続き温かい見守りと、何かあれば学校や関係機関への情報提供をお願い申し上げます。

嘉手納町教育委員会 教育長 浦崎直哉

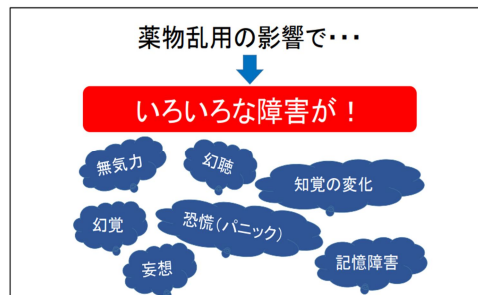
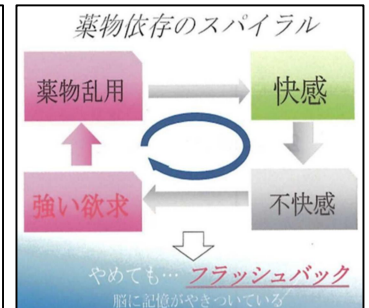
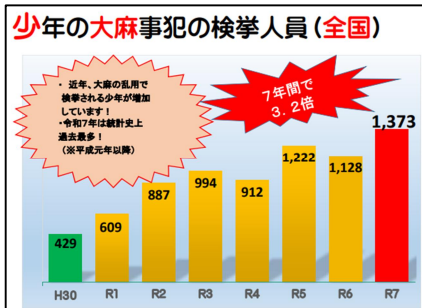
# 【開催報告】子どもたちを薬物から守るための講演会

7月2日、嘉手納町中央公民館にて、沖縄県警察本部生活安全部少年課の棚原直樹氏を講師にお招きし、「子どもたちを薬物から守るための講演会」を開催いたしました。昨今、SNSの普及により薬物の情報や誘いが子どもたちの身近な存在となっており、県内でも若年層の薬物事犯が増加傾向にあります。今回の講演では、そうした現状を重く受け止め、「学校・家庭・地域」が連携して子どもたちを守るために何ができるかを共に考えました。

## ●講演の主な内容

### 1 薬物の現状と危険性

- 大麻やエトミデート（指定薬物）など、若年層に広がる薬物の実態について解説がありました。特に、かつてのイメージとは異なり、現在はSNSを通じて日常的な会話のように売買が行われている現状が紹介され、参加者はその身近さと危険性に強い危機感を抱きました。



### 2 「守るために」大人ができること

- 薬物乱用を防ぐ鍵は、知識だけでなく「子どもの孤立を防ぐこと」であると強調されました。大人が気づくべきサインとして、生活面や交友関係、スマホ利用状況の急激な変化などが挙げられ、一つのサインで決めつけるのではなく、気になる点があれば早めに大人同士で情報を共有し、抱え込まずに繋がるのが大切であると伝えられました。

### 3 誘われた時の対処法「REALの原則」

- 子どもたちが実際に誘われた際の断り方として、「REALの原則（断る・伝える・避ける・立ち去る）」が紹介されました。

- R**efuse ... 断る勇気を持つこと
- E**xplain ... 嫌だという気持ちを自分の口で伝えること
- A**void ... 危険な状況を回避すること
- L**eave ... 危険な状況に遭遇したらすぐに逃げること

もし友達や先輩に誘われてしまったら「REALの原則」を思い出して自分で自分の身を守ってください。そして、何か困ったことがあったときは相談することが解決への近道です。

### 4 おわりに

講師の棚原氏からは、「薬物の危険は今や子どもたちのすぐそばまで迫っている。子どもたちを守るためには、学校・家庭・地域がそれぞれの立場で変化に気づき、声をかけ、抱え込まずにつなぐことが大切です」との力強いメッセージが贈られました。

学校・家庭・地域社会が一体となって、子どもたちを薬物の魔の手から守っていきましょう。